

(別紙)

令和5年度(令和4年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成してください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 埼玉県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジンタイムキョウセカイ
法人名	社会福祉法人たいむ共生会
フリガナ	ケアホーム・タイムわかば
事業所名	ケアホーム・タイムわかば
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
グループホーム	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育児、休職は除く)】	
5.4 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) マッスルスーツEveryタイトフィット 2台

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)		
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)					
直接介護	1 人	1 移動・移乗・体位変換	25 件	300 件	5 分	25 人時間	25 時間	
		2 排泄介助・支援		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
		3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
		4 行動上の問題への対応(※2)	1 人	25 件	300 件	20 分	100 人時間	100 時間
		5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務		6 巡回・移動		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
		7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
		8 見守り機器の使用・確認		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
		9 その他の間接業務		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
		50 件	600 件	25 分	125 人時間	#DIV/0!		

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> B. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日に1回程度、1か月での業務をおよそ25日として算出

<※2> D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

夜徘徊 自室へ戻す 時間がおおよそ10分~30分(平均20分)
玄関までの車椅子を利用せず歩く時間 約5分

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)		
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)					
直接介護	1 人	1 移動・移乗・体位変換	25 件	300 件	4 分	20 人時間	20 時間	
		2 排泄介助・支援		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
		3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
		4 行動上の問題への対応(※2)	1 人	25 件	300 件	18 分	90 人時間	90 時間
		5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!

間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			50 件	600 件	22 分	110 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日に1回程度、1か月での業務をおよそ25日として算出

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

夜徘徊 自室へ戻す 時間 約18分

玄関までの車椅子を利用せず歩く時間 約4分

いずれも機器導入前と比較して、平均処理時間は若干の減少にとどまっていますが、足腰への負担など身体的な負担軽減効果は大きいです。

年間業務時間数想定削減率(%)

12.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

徘徊や逆に固まって動かない状況時に持ち上げたりする動力が緩和されました。
車椅子の方の移乗時にも足腰への負担をかけずに移乗することができます

(5)今後の課題

入浴支援の際の湯船の出入りの際に活用することのできる機械(ロボット)を導入したく、補助金の申請を行いたいです。

(6)気づき等について

マッスルスーツがもっと簡単に着脱できるもので、見た目装着感が目立たないほうが良いと思います。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	有
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円/月)	無
職員の賃上げ等への充当	無
その他職場環境の改善への充当(※1)	有
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	有

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

成人の方を起こしたり、移動させる場合に足腰に負担がかかるためマッスルスーツを使用することで緩和されます。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

知的・情緒に障がいがある場合、特に強度行動障がいがある方は、思うよう行動せず、声掛けにも応じない場合があります。その際にロボットを活用することにより、力をかけず起こしたり移動したりすることができるようになりました。